

## 安全に関する改善事例

記入日: 17年 10月 18日  
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
大保本ダム	沖縄県	沖縄総合事務局	G	77.5	363.3	410
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	ダム土工	設計要因	土砂崩壊	上下作業	有 : 無 協議中	
改善の概要: ダムサイトの地すべりが確認されており、地すべり土塊を全て除去する掘削計画であるが、施工中に表層の崩落が発生している。変状を把握するため測量会社による動態観測を定期的に行ってきたが、作業の安全確保のため早期発見を目指して光波測距器による自動追尾システムを導入した。					特許の有無	
					有 : 無	
メリット: 測定器を固定しているため人力で計るより誤差が少ない。 設定した時間間隔で自動計測するので24時間観測できる。			デメリット: コストは測量1班分程度かかる。 台風時には暴風雨対策として小屋の養生、機器の一時撤去が必要となる。			

改善前 (略図または写真)

光波測距器を毎回移動して測定点にミラーを据えて観測していた。  
 現場の測量業務と並行して行っていたため、測定頻度は1回/週または降雨後にしかできなかった。

改善後 (略図または写真)



観測機器



観測点